

2017年4月に開校した日本グローバルアカデミーでは、ベトナム、インドネシア、フィリピンからの学生41名が、日本語の勉強に励んでいます。母国で看護師をしていた学生も多く、日本で看護師や介護福祉士の資格を取り、働くことを希望している学生が多くいます。来年4月にはモングルの学生も入学して60名になる予定です。

学生の年齢は20歳から40歳くらいまでで、多くは病院や施設でお年寄りのお世話をするアルバイトをしており、とても素直で年長者を大切にする優しい学生です。仁井の民家に共同で住んでおり、地元の方とも明るく挨拶をしているいろいろな話をしています。



「楽しいふれあい」を。

JPGA 日本グローバルアカデミー 校長



前川 誉志朗

「仁井まつり」だったようです。若い日本の学生との交流がうれしかったのです。継続して毎年計画されることで、学生は楽しみにしています。

彼らを見ると、私が子供だった頃、年齢が違う近所の子供と一緒に外で遊んでいたのを思い出します。年齢が違えば近所の子供が、一緒に遊ぶのを切っ掛けとして、遊びを通してリーダー養成が行われていたような気がします。

出身国が違い、年齢が違い、宗教が違っている学生が助け合っている姿を見ると、日本人の若い人の生き方にあるような気がしています。

これからの地元の方、アルバイト先の方、イベントなどで出会う若い日本の学生などとの交流を大切にしていってほしいながら、国際交流というほど大げさではない「楽しいふれあい」をさせてあげたいと思っています。



■ DVD 発売元(株)シグロ：本編 112分
【問い合わせ先】
淡路市市民生活部人権推進課
TEL：0799-64-2521
FAX：0799-64-2565

「絵の中のぼくの村」
「ふしぎなともだち」の作者 田島征彦さん（淡路市黒谷）の少年時代を描く物語

◆二人は、ふたご。絵の好きなふたご。ぼくらはいつも二人で川に釣りにいっていた。映画はいっしょか二人の描いた故郷の絵から、昭和23年、高知の田舎の村へ……

原作は、絵本作家である田島征彦さんの自伝的エッセイ「絵の中のぼくの村」。ふたごの兄 征彦さんも絵本作家。映画では二人が、生涯で一番大切に楽しんでいる「思い出」と語る、高知県の田舎で過ごした少年時代のエピソード。

◆この映画が何故、人権的なのか……

この映画には、田島兄弟の少年時代のエピソードの一つとして、同和問題との出会いを少年のピュアな心で描かれています。教師であった母親の言動、衝撃的な態度を象徴的に表現しています。

◆キャストに、原田美枝子、長塚京三、小松方正等、豪華俳優陣で制作。東陽一監督作品。（人権推進課で、個人用貸出品として受付します。）

ソードに、原作にはなかった三人の老婆や伝説の妖怪を登場させた心の風景を舞台に描く、ファンタジー映画。

第46回ベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞。感受性豊かな少年期を独創的な視点で描き、静かなユーモアと深い叡智を湛えた作品として高く評価されている作品。

第49号のクイズの当選者は次の20名です。図書カードをお送りします。（敬称略）

柴生よしみ（佐野） 中谷真也（中田） 富田茂樹（志筑） 登里千穂（中田） 原田有彩（生穂） 松田泰子（志筑） 國久有香（志筑） 岸本舞花（生穂） 坂東清行（飯屋） 中野佳那子（久留麻） 山内梨緒（久留麻） 長野司津（岩屋） 西岡志乃（岩屋） 凧ちずる（室津） 片平登志子（生田田尻） 竹村瑠菜（浅野南） 石井敬子（石田） 地道京子（北山） 脇けい子（江井） 瀬島友紀子（草香）

※正解は「にほんいさん」。
応募総数は58名でした。

よい強固な企業に育てる為に、人権学習も!

★外国人・パワー・ハラズメント・障がい者・女性・部落差別等の企業内研修を実施しませんか!

- ・職場内で共有する尊重ルール
- ・職場内での人間関係の健全化

★DVD学習 (30分) と人権教育指導員のお話 (15分)

申込み先：人権推進課 (0799-64-2521)